

養老の里便り

第 74 号

令和 8 年(2026)

9 月 27 日

老人保健施設 養老の里

リハビリテーションや献身的な看護・介護を中心とした医療サービスと日常生活上のサービスを通じて、自立を支援し、家庭への復帰をしていただくための施設です。



地域の皆様へ

秋分を過ぎ、日没の時間が早くなったと感じる今日この頃ですが、皆様には益々ご健勝のことと存じます。平素、養老の里へのご理解とご支援をありがとうございます。

この 1 ヶ月間も様々な出来事が起こりました。台風襲来で全国各地で水害が発生し犠牲者が出ていますし、中国・チベットの国境ではヒマラヤの氷河が崩落して大災害を引き起こしています。気候変動が影響したためと考えられていますが災害の報道にも中国とチベットの姿勢の違いが明らかになっています。

世界の政情を見てみますと、日本では高市政権の内閣改造によって 18 名中 8 名は世界戦略を維持するためにそのまま仕事を継続することとし、10 名の新しい閣僚が誕生しました。自民党各議員にアンケートの回答を求め、各個人の今までの研鑽と将来への展望や覚悟を見極めて人選した結果の新布陣です。その組閣直後高市首相は米国に飛び、トランプ大統領やウクライナのゼレンスキー大統領との首脳会談、国連総会での一般討論演説など二泊三日の米国滞在の慌ただしい動きの中で、日本の主張を展開して帰国されました。米中首脳会談の直前に差し込んだ日米首脳会談は米中の G2 構想をなんとか阻止しようとする仕掛けで、我が国としてなんとしても成功させねばならないものでした。太平洋を米国と中国で 2 分して統治しようとする習近平と、南北アメリカ大陸を米国が支配して、その他の地域にはあまり口出ししないとの西太平洋構想を打ち出したトランプ大統領が、日本の頭越しで提携を結んでしまう可能性を阻止したい日本の動きです。米国は 10 月に議会選挙が控えていますし、中国も若者の失業率が 40% 以上と言われるような破局的な経済状況で、習近平自身も側近を次々罷免して孤立状態にあります。米中両国とも国内に大きな問題を抱え、なんとか打開策を求めての今回の首脳会談だったわけで、今後どのような展開となるのか注視していく必要があります。このような世界状況の中で、高市政権は 60% の高支持率を維持し、今回の国連演説でも、2005 年に既に国連総会で可決されているはずの旧敵国条項の撤廃を再度求めるなど、国連がしっかり機能して欲しいとの提言を行いました。戦後日本とドイツを敵国と認定し両国の動きを封じ込めるために創設された United Nations です。この国連に加盟して 70 年間果たしてきた献身とともに、日本として誇りを持って旧敵国条項の撤廃を求める演説です。日本が新軍国主義を進めようとしているとの主張を中国が展開する中、時宜を得た対応でした。

翻って地域の状況を見たとき、そこに生きる人々が健康で安心して生活するための必須のインフラである医療や介護は、その存立が揺らいできています。AI が導入され産業構造が変動しつつある今、この重要なインフラを如何に維持し、進化させていくかを挙げて考えていかなければなりません。私たちはこの医療や介護の仕事を誇りを持って進めたい、おじいさんやおばさんが笑顔で生活する地域を、皆さんと一緒に支えていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。 林 正俊

スタッフから

看護部から； 少しずつ秋らしく空が高くなってきていますが、残暑も厳しい状態です。体調管理に注意していきます。10 月～11 月にかけて入所者様の健康診断と新型コロナの予防接種、インフルエンザ予防接種を行う予定です。

デイケア；満喫ツアーに行きました。